

令和6年度 自己評価シート

幼保連携型認定こども園
東植田こども園

1. 本園の教育・保育目標

生きる力の基礎を育むため、幼保連携型認定こども園の教育及び保育の基本を踏まえ、次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努める。

- ・ 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」
- ・ 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- ・ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

2. 本園の重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び園の全体的な計画を踏まえて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、教職員がその内容を確認しながら共通理解を図り、こども園全体の教育・保育を高めるとともに、自身の資質向上に努め、保護者や地域からの理解が得られるよう努める。そして、更に、小学校へのスムーズな接続につなげていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが成果不十分
D:取り組みが不十分

	取り組み内容	評価
充実 教育・保育の	教育・保育理念に基づき園の全体的な計画を作成し、教職員間で共通理解を図っている。	A
	園の方針や特色を指導計画や保育実践に生かそうとしている。	B
	遊びの中で言葉や文字・数字に興味をもてるようにしている。	A
	身体を動かす機会を十分に確保し、身体を動かす楽しさを味わえるようにしている。	A
	子どもの表現を積極的に受け止め、様々な表現に仕方や感性を豊かにする経験となるようにしている。	B
	栽培活動や調理活動など食育活動を推進している。	B
	配慮が必要な子どもに対して、職員間で共通理解を図り、適切に対応している。	A
	安全管理や防災活動を適切に行っている。	B

	取り組み内容	評価
保護者・地域との連携	園の教育・保育方針について、保護者のわかりやすく伝えている。	B
	園の教育・保育方針や園の情報をお便りやホームページ等で地域に発信している。	B
	保護者のニーズの把握に努め、教職員間で共通理解を図り、要望や苦情に適切に対応している。	B
	小学校との連絡会や研修会、交流会等の機会を設け、連携に努めている。	B
	地域の行事への参加や世代間交流の機会を積極的に設けている。	B
保育者の資質	子どもの育ちと人権を第一に考え、保育にあたっている。	B
	まわりの人の良いところを見つけ、感謝する姿勢を持っている。	B
	自分の感情を把握、し受け入れた上で、冷静にコミュニケーションしている。	B
	職務上知り得た個人情報を適切に取り扱っている。	B
	資質向上のために、保育の情報収集や自己研鑽を積極的に行っている。	B

4. 令和6年度を終えるにあたって

本年度は、教育・保育課程の見直しを実施して、年齢ごとの教育・保育実践に生かすような努力を重ねた年である。

本園で力を入れている、朝の会の年齢ごとの内容の見直しを行い、発達段階に応じて、より充実した、子どもの育成の一助になる活動と考えた一年である。子ども達の朝の活動が、より生き生きしたものになったと思われる。

(例)教育課程 P.14

もも組(0・1歳児)の「おはじまり」のメニュー

組	メニュー	留意事項
もも	リトミック	教育課程の「1歳児リトミック」を実践する
	歌	教育課程の「音楽」の歌から2,3曲歌う
	おへんじ、はい	しっかり目を合わせてフルネームで
	手遊び	色々な手遊び歌を工夫する。本を購入して開拓する。
	読み聞かせ	教育課程の「0,1歳児の読み聞かせ・語り聞かせ」他
	その他 ()	ペープサートや、エプロンシアター、紙芝居、指人形など、様々な教材を工夫すること

上記のように、各年齢で、朝の会で取り組む活動を設定していった。